



クロストリディオイデス (クロストリジウム)
・ディフィシルの選択分離用培地

ニッサイプレート **CCMA培地EX**

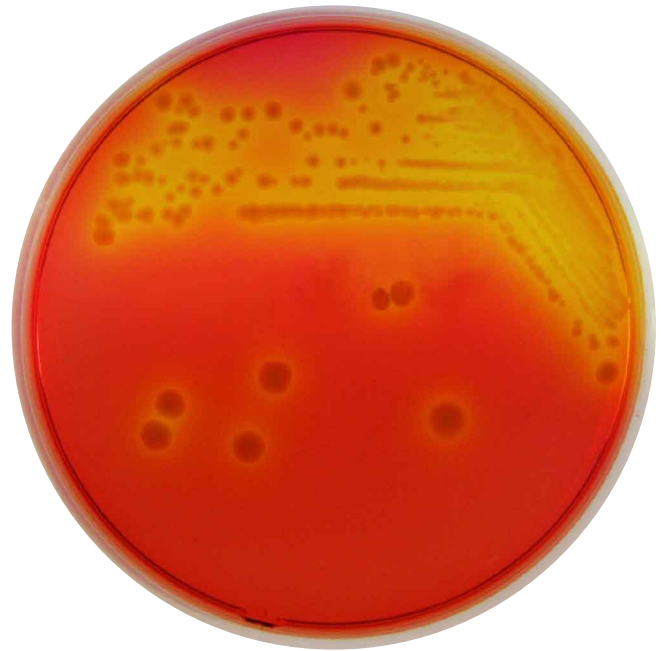
病院の感染制御・院内感染防止対策のため、菌体を検出して保存することは重要です。
クロストリディオイデス (クロストリジウム) ・ディフィシル
が見易く、効率よく選択分離することができます。

特徴

- CCMA培地EXは、芽胞を形成する偏性嫌気性グラム陽性桿菌であるクロストリディオイデス (クロストリジウム) ・ディフィシル: *Clostridioides (Clostridium) difficile* の選択分離培養に適した培地です。
- *C. difficile* は大部分が周辺不規則で鋸歯状 (R型) の黄色コロニーを形成します。また、本菌が発育すると馬尿酸臭 (馬小屋臭) と呼ばれる特有の臭いを発するため、その存在が容易に推測できます。
- *C. difficile* 以外の菌の発育を強く抑制します。
※CCMA培地 (Cycloserin-Cefoxitin Mannitol Agar)

使用上の注意

- 嫌気性菌は、酸素に暴露されると急激に菌数が減少しますので、検体採取後は速やかに培地に接種して下さい。
- 本製品は、脱酸素剤が封入され包装されていますので、開封して取り出した培地に、そのまま検体を接種することができます。残った未使用の培地は、密封して冷暗所に保管して下さい。



Clostridioides (Clostridium) difficile

発育・抑制性比較 (嫌気培養)

	CCMA培地EX	A社	B社	C社
<i>Clostridioides difficile</i>	+	+	+	+
<i>Staphylococcus aureus</i>	-	-	-	-
<i>Enterococcus spp.</i>	-	V	-	V
<i>Bacillus spp.</i>	-	-	-	V
<i>Candida albicans</i>	-	+	-	-
<i>Escherichia coli</i>	-	-	-	-
<i>Klebsiella spp.</i>	-	-	-	V
<i>Citrobacter spp.</i>	-	-	-	-
<i>Enterobacter spp.</i>	-	V	-	+
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	-	V	V	+
<i>Stenotrophomonas maltophilia</i>	-	+	+	+
<i>Acinetobacter spp.</i>	-	-	-	-
<i>Alcaligenes spp.</i>	V	V	V	+

注) + : 発育、V : 発育・発育なしの株あり、- : 発育なし

基本組成

(培地1L中)

CCMA培地EX	
肉ペプトン	40.0g
塩化ナトリウム	2.0g
硫酸マグネシウム	0.1g
マンニット	10.0g
ニュートラルレッド	0.04g
発育因子	6.15g
選択剤	0.27g
カンテン	22.0g
pH 7.3±0.2	

品名	製品コード	包装	希望納入価格(円)	貯法・使用期限
ニッサイプレート CCMA培地EX	51034	10枚	4,500	冷暗所 (4~10℃) 保存 禁凍結・製造後3カ月間
	50035	100枚	45,000	